

～PTA 教育講演会 報告～

平成 27 年 11 月 25 日に、屋久島の安房にて、安房地区の PTA とこども医療ネットワークの共催で講演会が開かれました。講演タイトルは、「こどもの症状 — 小児科へ行く前に」、副題は「こどもの命を守るため」にでした。平日夜間の開催にもかかわらず、NPO からサポートを得ている家族の方を含め、小学校、中学校の父兄や学校関係者 58 人が参加されました。講演の後には意見交換会が行われました。19 歳未満の小児の主な死亡原因である不慮の事故(45%)、先天奇形(26%)、自殺(14%)、悪性腫瘍(小児がん)(11%)について概説し、それぞれの死亡を学校や家庭でのように防ぐことができるのか(交通事故、溺水、窒息に気を付けること、予防接種を受けること、たばこが有害であること)について話しました。小児がんについては、どのような症状が見られるのか、専門医を受診するタイミングなどについて解説しました。小児がんを克服して成人になる割合が増えており、生活の質が益々重要になっています。いじめを受けるこどもや、難病をもつこどもが生きやすい、真の意味での個性を尊重する世の中になって欲しいと思います。

こども医療ネットワーク会員

岡本 康裕(鹿児島大学病院小児診療センター)

